

舞鶴から熊本へ 広がる支援の和

舞鶴から熊本へ

舞鶴から熊本・九州へ支援の和が広がっている。4月18～21日、引土の西舞鶴高校では熊本被災者支援の募金活動が行われた。

この活動は、同校の生徒会役員である廣瀬智貴さん(17)、小山海木さん(17)、菊田颯さん(17)、奥野祐奈さん(17)、田口歩実さん(17)の5人が、

熊本の地震報道をテレビで見ても「僕たちができることはないか」と考え、先生たちの協力を得て、活動に至った。募金は同校北門で、8時15分から授業が始まるまでの限られた時間で行い、多くの生徒や市民が想いを託した。

また、大波下の若浦中学校では4月24日、「若浦中学校和太鼓クラブ」が熊本復興を祈り、三宅太鼓の演奏を披露し義援金を呼びかけた。

同クラブは昨年結成され、メンバーは松本逸希くん(13)、岡田淳也くん(13)、森本涼平くん(13)、倉内陽太くん(13)の4人。授業終了後、龜井雅之校長に指導を受け、

地域のお祭り等に参加している。今回の取り組みについて、メンバーは「少しでも喜んでもらえるように力になれたら」と話した。義援金の呼びかけに

募金を呼びかける西高生



関わった生徒会会長の松本太くん(14)は「今後は援助物資を集めて、被災地へ届けられるようにしたい」と力強く語った。

同日、ボーイスカウト舞鶴第6団の22人が、市内スパーで熊本被災者支援の募金活動を行った。「熊本地震救援募金、ご協力お願いします!」と大きな声で呼びかけると、たくさんの方から手を差し伸べられた。

若浦中学校で集められた義援金は、日本赤十字社京都府支部舞鶴市地区長の多々見良三市長に託され、西舞鶴高校、ボーイスカウト舞鶴第6団で集められた義援金もそれぞれ、日本赤十字社を通じ



募金を呼びかけるボーイスカウト団員

祈りを込めて太鼓をたたく 若浦中生徒



民間企業にも支援の和

て、熊本地震被災者の元に届けられる。

2日、喜多のDIY STYLEの森本隆代表取締役(43)ら舞鶴市内や福知山市の4人のメンバーが中心となり、北近畿から熊本へ災害支援を行っている「北近畿くまもと地震支援チーム」が市内の企業や市民有志から預かった援助物資等の発送作業が行われた。

支援物資を乗せたトラックは、3日正午頃に出発。現地で支援活動を行っている熊本県益城町消防団1分団1班、日本防災士会に届けられた。

森本さんたちは、災害が発生した翌週の4月18日には同チームを立ち上げ、HPを作成。正確な情報を得るため、自身のネット

ワークを駆使し、熊本県益城町消防団1分団1班、日本防災士会などコンタクトを取り、直接現場と繋がれるルートを確認した。

またスピード感を意識し、SNS等を活用して広く呼びかけ、手探りでがむしゃらに自分たちの「できること」を考え、行動に移し続けたという。

この取組みは、多くの反響を呼び、43万円を超える支援金とたくさんさんの支援物資が集まった。

今回、トラックに積まれた支援物資には、ウェットティッシュや防寒用としてテント、ブルーシート、小さい子ども用のお菓子や絵本など、現場と情報交換を密に行い、必要とされているものを選び送っている。

同チームの森本さんは「やっとなんか送ることができたというのが正直

集まった支援物資



な気持ち。本当はもっと早く送りたいと思ったが、想像以上に物資を集め、仕分けしていくのが大変だった。でもこういったことがきっかけで、色んな人や想いが集まり、本当に小さな小さな集まりかもしれないが、地域のコミュニティができて、一緒に行動に移せたことには、すごく街の可能性を感じた。今はまだ何ができるかわからないが、現場の情報に合った支援を行ってほしい」と語った。

舞鶴市民新聞では報道ができたことを考えて、支援の情報を一つでも多く伝えることで支援の和を広げる協力をしていきます。

金・プラチナ相場

| | 売り | 買い |
|------|--------|----|
| 金 | 4,809円 | — |
| プラチナ | 4,015円 | — |

店頭1グラム当たり価格(税込み)
(5日午前10時現在)

田中貴金属㈱特約店 シオ三
二条大門 ☎62-0370